

大高翔の俳句教室(全5回)



大高 翔(おおたか・しょう)

俳人。藍花俳句会副主宰。1977年、阿南市生まれ。立教大学文学部日本文学科卒。母のすすめで13歳から作句を開始。城東高校卒業時に第1句集『ひとりの聖域』を自費出版、10代の句集として話題を呼ぶ。2007年『漱石さんの俳句』で第22回俳人協会評論賞候補。10年、阿波文化創造賞受賞。16年、第4句集『帰帆』で第1回俳句大学大賞受賞。現在、徳島新聞に毎月1回、エッセイ「ねこのひげ」を連載中。子どもや初心者、パリやニューヨークなど海外での作句指導にも力を注いでいる。句集はほかに『17文字の孤独』『キリトリセン』。

ホームページ <http://www.shootaka.jp/>

申込方法

はがき・FAX・メールのいずれかに「大高翔の俳句教室」と明記のうえ、郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を記入してお申し込みください。

当館1階受付でも申し込みます。

昨年度に引き続き、2020年度も阿南市出身の俳人・大高翔さんによる若い人のための俳句教室を開講します。

10代で第一句集を出版、初心者への指導経験も豊富な大高さんから俳句づくりの基本を学びます。句会を楽しみながら、自分らしい句を作ってみましょう。

日時 ①4月11日 ②5月9日
③6月13日 ④7月11日
⑤8月8日(各土曜日)

14:00~16:00

場所 2階 講座室

定員 先着20人

対象 中学生から39歳までの人